



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部長 (氏名) 稲谷 和樹
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6233-2636

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,981	1.8	175		720		575	
2023年3月期第1四半期	4,895	5.9	48		47		6	73.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 589百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 19百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	74.49	
2023年3月期第1四半期	0.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	10,592	3,239	30.6	419.20
2023年3月期	11,034	2,804	25.4	362.94

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,239百万円 2023年3月期 2,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		20.00	20.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,856	5.4	1,166	656.5	1,146		803		103.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,850,000 株	2023年3月期	7,850,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	122,736 株	2023年3月期	122,736 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	7,724,264 株	2023年3月期1Q	7,727,264 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられ、国内における行動制限や海外からの入国制限の緩和により社会環境、経済活動が正常化に向かう一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、フィルム原反の供給不足による価格上昇や物流コストの高騰、為替相場の急激な変動による輸入仕入価格の上昇など厳しい事業環境が続く中、お客様へ価格の引き上げをお願いするとともに、為替リスクを解消するための為替予約など営業的、財務的な施策を実施し収益の改善に努めてまいりました。また営業促進支援事業、商品販売事業ともに、社会情勢の変化に応じてしなやかに対応し、収益性を高める体質に変革していくことが必要であり、そのために、当社の国内外の生産拠点を最大限活用したメーカー志向を推進し、パッケージを起点としてお客様の要望をくみ取り、様々なサービスを提供する複合営業を強化し、高収益を達成するための基盤作りに焦点を絞り、企業価値を高め、成長を目指してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,981百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面につきましては、商品販売事業の利益率が改善されたことにより、営業利益は175百万円（前年同期は48百万円の営業損失）となりました。またデリバティブ評価益として555百万円を計上した結果、経常利益は720百万円（前年同期は47百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は575百万円（前年同期は6百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（営業促進支援事業）

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をする事業であります。

販促品キャンペーンを軸とする販売は、コロナ禍での巣ごもり需要の大口販促の企画が減少したことで前期実績数値を下回りました。OEMについては、化粧品等の案件は横ばいであったものの、雑貨等の充填などのアセンブリ作業はメーカーの過剰在庫が影響したこと等で大きく落ち込みました。また発送代行については、ECへの移行といった環境の変化による通数の減少はみられたものの微増となりました。

利益面につきましては、化粧品案件の増加に伴う自社工場の稼働率は高かったものの、売上の落ち込みが要因となり売上総利益は減少しましたが、販管費は人件費やその他経費が減少したことから、セグメント利益額は増加いたしました。

その結果、売上高は2,376百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は67百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

（商品販売事業）

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供する事業であります。100円ショップ向けについては、高額商品の投入や消臭袋、鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリ製品を中心に好調であり、またコロナ明けの消費者行動の変化により行楽商品やトラベル用品が回復したこともあり大きな増加となりました。量販店向けについては、ポリ製品は100円ショップ向け同様安定した売上があり、インテリア雑貨が多くの小売店に導入され商品展開が広がりました。しかし紙製品を中心としたコンテナ直送での販売をやめたことが大きく影響し減少となりました。

利益面につきましては、収益性の高い製品を導入できたこと、仕様変更や廃盤を積極的に進め原価低減に努めたことから、セグメント利益額は大幅な回復となりました。

その結果、売上高は2,629百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益は108百万円（前年同期は100百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,592百万円となり、前連結会計年度末に比べ441百万円減少しました。これは主に現金及び預金等が増加したものの、受取手形及び売掛金や原材料及び貯蔵品等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は7,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ876百万円減少しました。これは主に未払法人税等が増加したものの、支払手形及び買掛金や短期借入金等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は3,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ434百万円増加しました。これは主に利益剰余金等が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,136	1,330,438
受取手形及び売掛金	2,973,057	2,659,875
電子記録債権	697,783	709,983
商品及び製品	1,757,903	1,737,693
仕掛品	228,760	178,130
原材料及び貯蔵品	491,613	402,170
その他	219,327	188,110
貸倒引当金	△1,022	△673
流動資産合計	7,634,559	7,205,728
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,414,975	1,414,975
その他（純額）	942,351	941,151
有形固定資産合計	2,357,326	2,356,126
無形固定資産		
顧客関連資産	147,361	144,820
その他	63,461	54,500
無形固定資産合計	210,823	199,320
投資その他の資産		
その他	874,533	884,005
貸倒引当金	△42,655	△52,367
投資その他の資産合計	831,878	831,638
固定資産合計	3,400,028	3,387,085
資産合計	11,034,587	10,592,814
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,317	1,174,825
短期借入金	4,680,000	4,300,000
1年内返済予定の長期借入金	152,952	147,852
未払法人税等	44,620	166,737
未払消費税等	28,664	78,393
賞与引当金	114,131	78,730
その他	430,711	432,424
流動負債合計	6,702,396	6,378,963
固定負債		
長期借入金	466,834	428,950
退職給付に係る負債	65,509	65,841
長期末払金	137,022	137,022
その他	858,293	342,732
固定負債合計	1,527,659	974,545
負債合計	8,230,055	7,353,508

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	1,071,452	1,492,531
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	2,537,902	2,958,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,398	124,628
繰延ヘッジ損益	△2,190	2,595
為替換算調整勘定	136,422	153,101
その他の包括利益累計額合計	266,629	280,324
純資産合計	2,804,532	3,239,305
負債純資産合計	11,034,587	10,592,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	4,895,384	4,981,862
売上原価	4,003,352	3,952,239
売上総利益	892,032	1,029,622
販売費及び一般管理費	940,480	853,866
営業利益又は営業損失(△)	△48,447	175,756
営業外収益		
受取利息	—	44
受取配当金	4,634	5,032
為替差益	2,961	1,358
デリバティブ評価益	—	555,587
資材売却収入	1,152	1,264
その他	2,302	1,385
営業外収益合計	11,051	564,674
営業外費用		
支払利息	8,223	7,281
貸倒引当金繰入額	△1	9,714
その他	1,876	2,651
営業外費用合計	10,098	19,647
経常利益又は経常損失(△)	△47,495	720,783
特別利益		
固定資産売却益	—	20
投資有価証券売却益	3,739	—
特別利益合計	3,739	20
特別損失		
固定資産除却損	—	10
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,755	720,792
法人税、住民税及び事業税	12,725	108,948
法人税等調整額	△63,143	36,220
法人税等合計	△50,418	145,168
四半期純利益	6,663	575,623
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,663	575,623

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	6,663	575,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,165	△7,769
繰延ヘッジ損益	—	4,786
為替換算調整勘定	△724	16,678
その他の包括利益合計	△25,890	13,695
四半期包括利益	△19,227	589,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,227	589,318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。